

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 1 ー

病院施設番号： 030157

臨床研修病院の名称： 医療法人沖縄徳洲会千葉徳洲会病院

記入日：西暦 2020 年 4 月 30 日

病院施設番号 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	030157	臨床研修病院群の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に臨床研修病院群番号を有している臨床 研修病院群については、番号も記入し てください。	名称 番号
作成責任者の氏名及び連絡先 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ シミズ 氏名(姓) 清水	ダイスケ (名) 大輔	役職 事務 (内線 5005) (直通電話 047(774)0390) e-mail : kensyu@chibatoku.or.jp <small>(携帯電話のメールアドレスは不可とします。)</small>
1. 病院の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	フリガナ イリヨウホウジンオキナワトクシュウカイチバトクシュウカイビョウイン 医療法人沖縄徳洲会 千葉徳洲会病院		
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 274-8503 (千葉県) 船橋市高根台 2-11-1 電話 : (047) 466-7111 FAX : (047) 464-6322 二次医療圏 の名称 : 千葉県東葛南部		
3. 病院の開設者の氏名(法 人の名称) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ イリヨウホウジンオキナワトクシュウカイリジチョウスズキタカオ 医療法人沖縄徳洲会 理事長 鈴木 隆夫		
4. 病院の開設者の住所(法 人の主たる事務所の所在 地) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 901-0493 (沖縄県) 島尻郡八重瀬町字外間 80 番地 電話 : (098) 998-3221 FAX : (098) 998-3220		
5. 病院の管理者の氏名 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ ツルタ ヨシヒコ 姓 鶴田	名 好彦	
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 <small>(基幹型記入)</small>	* 別紙 1 に記入 研修管理委員会のすべての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。		
7. 病院群の構成等 <small>(基幹型記入)</small>	* 別表に記入 病院群を構成するすべての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。		
8. 病院のホームページアドレス <small>(基幹型・協力型記入)</small>	http://www.chibatoku.or.jp		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 2 －

病院施設番号： 030157

臨床研修病院の名称： 医療法人沖繩徳洲会千葉徳洲会病院

		※
9. 医師（研修医を含む。）の員数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		常勤： 48 名、非常勤（常勤換算）： 20.0 名 計（常勤換算）： 68.0 名、医療法による医師の標準員数： 36.03 名 * 研修医の氏名等について様式3に記入
10. 救急医療の提供の実績 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	救急病院認定の告示	告示年月日：西暦 2017 年 07 月 04 日、告示番号：第 517 号
	医療計画上の位置付け	1. 初期救急医療機関 (2.) 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	(1.) 有 (130.300) m ² 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数： 16,943 件（うち診療時間外： 7,221 件） 1日平均件数： 46.3 件（うち診療時間外： 19.7 件） 救急車取扱件数： 4,643 件（うち診療時間外： 2,642 件）
	診療時間外の勤務体制	医師： 2 名、看護師及び准看護師： 3 名
	指導を行う者の氏名等	* 別紙4に記入
	救急医療を提供している診療科	内科系 (1.) 有 0. 無) 外科系 (1.) 有 0. 無) 小児科 (1. 有 (0.) 無) その他 ()
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 391 床、2. 精神： 0 床、3. 感染症： 0 床 4. 結核： 0 床、5. 療養： 0 床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		* 別紙2に記入
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 14.8 日、2. 精神： 0.0 日、3. 感染症： 0.0 日 4. 結核： 0.0 日、5. 療養： 0.0 日
14. 前年度の分娩件数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		正常分娩件数： 件、異常分娩件数： 件
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	開催回数	前年度実績： 2 回、今年度見込： 3 回 ※報告・届出病院の主催の下に開催した回数を記載
	指導を行う病理医の氏名等	* 別紙4に記入
	剖検数	前年度実績： 1 件、今年度見込： 5 件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 (1.) 有 0. 無 () 大学、() 病院 <small>無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。</small>
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	研修医の宿舎	1. 有（単身用： 戸、世帯用： 戸） 0. 無（住宅手当： 50000 円） <small>有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。</small>
	研修医室	(1.) 有 (1 室) 0. 無 <small>有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。</small>
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	図書室の広さ	(43.220) m ²
	医学図書数	国内図書： 1500 冊、国外図書： 500 冊
	医学雑誌数	国内雑誌： 38 種類、国外雑誌： 33 種類
	図書室の利用可能時間	8：00 ～ 20：00 24時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline等の文献データベース ((1.) 有 0. 無)、教育用コンテンツ ((1.) 有 0. 無)、 その他 () 利用可能時間 (0：00 ～ 24：00) 24時間表記
	医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター (1.) 有 0. 無)、その他 ()

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 3 －

病院施設番号： 030157

臨床研修病院の名称： 医療法人沖縄徳洲会千葉徳洲会病院

18. 病歴管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	病歴管理の責任者の氏名及び役職	㊦ガナ カワゴエ コトミ 氏名(姓) 川越 氏名(姓) 琴美 役職 主任		
	診療に関する諸記録の管理方法	① 中央管理 2. 各科管理 その他(具体的に:)		
	診療録の保存期間	(20) 年間保存		
	診療録の保存方法	1. 文書 2. 電子媒体 その他(具体的に: H16年3月以前は文書保存)		
19. 医療安全管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	安全管理者の配置状況	① 有 (1 名) 0. 無 <small>有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。</small>		
	安全管理部門の設置状況	職員: 専任 (1) 名、兼任 () 名 主な活動内容: 例) 「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」「医療事故の防止のための研修及び教育」等 「院内において発生した、インシデント・アクシデントについての情報収集」「医療安全のための研修・教育の企画」等		
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談窓口の責任者の氏名等:	㊦ガナ アサハラ シンゴ	
		氏名(姓) 浅原	氏名(姓) 新吾	
		役職 副院長	対応時間 (8:30 ~ 19:00) 24時間表記	
	患者相談窓口に係る規約の有無:	① 有 0. 無		
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	① 有 0. 無 指針の主な内容: ・医療安全管理体制の整備 ・医療安全管理のための擬態的方策の推進 ・医療事故発生時の具体的対応 ・医療事故の評価と医療安全対策への反映		
	医療に係る安全管理委員会の開催状況	年 (12) 回 活動の主な内容: ・毎月のレポート集計、レポートに対する分析 改善案立案支援 ・改善案の進捗状況の確認 ・院内ラウンド		
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 (2) 回 研修の主な内容: 平成27年度第1回 個人情報保護法・医薬品の安全な取扱い・マニュアル改訂 参加率 97.57% 第2回 医療安全の落とし穴 参加率 94.49%		
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策	医療機関内における事故報告等の整備: ① 有 0. 無 その他の改善のための方策の主な内容: レベル3b以上及び組織的改善が必要なインシデントに対し「医療安全業務改善会」の開催の仕方策の立案。立案された方策の周知、モニタリング		
20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	修了: 3 名 中断: 0 名			
21. 現に受け入れている研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>		前々年度	前年度	当該年度
	1 年	3	2	6
	2 年	2	3	2
22. 受入可能定員 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	許可病床数(歯科の病床数を除く。)から算出	許可病床数 (391) 床 ÷ 10 = (39) 名		
	患者数から算出	年間入院患者数 (7,364) 人 ÷ 100 = (74) 名		
23. 当該病院からの医師派遣実績 ※募集定員を変更する場合は、別紙5も提出すること。	○ 派遣実績 → 募集定員加算 <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> 名 名 </div> ※ 募集定員加算の人数は、報告・届出年度の翌年度の募集定員を算出する際に用いる医師派遣等の加算大数を記入すること。(記入要領25を参照) ○ 地域医療対策協議会等の意向の把握 (有 ・ 無) ※ 該当する方を○で囲むこと。			

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 5 －

病院施設番号： 030157 臨床研修病院の名称： 医療法人沖繩徳洲会千葉徳洲会病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

29. 研修プログラムの名称及び概要 <small>(基幹型記入)</small>	概要：* 別紙3に記入 (作成年月日：西暦 2020年 4月 21日)		
30. プログラム責任者の氏名等(副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等) <small>(基幹型記入)</small> * プログラム責任者の履歴を様式2に記入 * 副プログラム責任者が配置されている場合には、副プログラム責任者の履歴を様式2に記入	(プログラム責任者) フリガナ ムラタ イッペイ 氏名(姓) 村田 氏名(名) 一平 所属 外科 役職 医長 (副プログラム責任者) 1. 有()名 <input checked="" type="radio"/> 無		
31. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等 <small>(基幹型記入)</small> すべての臨床研修指導医等(協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。)について氏名等を記入してください。	* 別紙4に記入		
32. インターネットを用いた評価システム	<input checked="" type="radio"/> 有(<input checked="" type="radio"/> EPOC <input type="radio"/> その他()) <input type="radio"/> 無		
33. 研修開始時期 <small>(基幹型、地域密着型記入)</small>	西暦 2021年 4月 1日		
34. 研修医の処遇 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。 <input checked="" type="radio"/> 2. 病院独自の処遇とする。		
処遇の適用 <small>(基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。)</small>	1. 常勤 2. 非常勤		
常勤・非常勤の別	1. 常勤 2. 非常勤		
研修手当	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px dashed black;"> 一年次の支給額(税込み) 基本手当/月(340,000円) 賞与/年(440,000円) </td> <td style="width: 50%;"> 二年次の支給額(税込み) 基本手当/月(380,000円) 賞与/年(760,000円) </td> </tr> </table> 時間外手当： <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 休日手当： <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	一年次の支給額(税込み) 基本手当/月(340,000円) 賞与/年(440,000円)	二年次の支給額(税込み) 基本手当/月(380,000円) 賞与/年(760,000円)
一年次の支給額(税込み) 基本手当/月(340,000円) 賞与/年(440,000円)	二年次の支給額(税込み) 基本手当/月(380,000円) 賞与/年(760,000円)		
勤務時間	基本的な勤務時間(8:30 ~ 17:00) 24時間表記 休憩時間(原則 12:00~13:00) 時間外勤務の有無： <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		
休暇	有給休暇(1年次： 14日、2年次： 14日) 夏季休暇(1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無) 年末年始 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 その他休暇(具体的に：慶弔休暇等)		
当直	回数(約 5回/月)		
研修医の宿舍(再掲)	1. 有(単身用： 戸、世帯用： 戸) <input checked="" type="radio"/> 無(住宅手当： 50,000円) <small>有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舍の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。</small>		
研修医室(再掲)	<input checked="" type="radio"/> 有(1室) <input type="radio"/> 無 <small>有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。</small>		
社会保険・労働保険	公的医療保険(徳洲会健康保険組合) 公的年金保険(厚生年金) 労働者災害補償保険法の適用(1. 有 <input type="radio"/> 無)、 国家・地方公務員災害補償法の適用(1. 有 <input type="radio"/> 無) 雇用保険 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		
健康管理	健康診断(年 2回) その他(具体的に)		
医師賠償責任保険の扱い	病院において加入 <input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない 個人加入(1. 強制 <input checked="" type="radio"/> 任意)		
外部の研修活動	学会、研究会等への参加： <input checked="" type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 否 学会、研究会等への参加費用支給の有無： <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		
35. 研修医手帳 <small>(基幹型記入)</small>	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		
36. 連携状況 <small>(基幹型記入)</small>	* 様式6に記入		

※欄は、記入しないこと。

7. 病院群の構成等

別表

基幹型病院の名称（所在都道府県）：医療法人沖繩徳洲会 千葉徳洲会病院（千葉県）

基幹型又は地域密着型病院				協力型病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
千葉県	東葛南部	千葉徳洲会病院 (病院施設番号：030157)		千葉県	東葛南部		千葉病院 (病院施設番号：030155)		北海道	十勝		帯広徳洲会病院 (病院施設番号：031070)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	6名
				千葉県	東葛北部		千葉西総合病院 (病院施設番号：030159)		北海道	南渡島		共愛会病院 (病院施設番号：031121)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	6名
				千葉県	印旛		成田富里徳洲会病院 (病院施設番号：168317)		山梨県	中北		白根徳洲会病院 (病院施設番号：031122)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	6名
				千葉県	東葛南部	追加	鎌ヶ谷総合病院 (病院施設番号：090016)		鹿児島県	肝属		大隅徳洲会病院 (病院施設番号：031123)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	6名
				北海道	札幌圏	追加	札幌徳洲会病院 (病院施設番号：030011)		山形県	最上		新庄徳洲会病院 (病院施設番号：031124)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	6名
							(病院施設番号：)		新潟県	下越		山北徳洲会病院 (病院施設番号：032540)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	6名
							(病院施設番号：)		鹿児島県	奄美		喜界徳洲会病院 (病院施設番号：033277)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	6名
							(病院施設番号：)		鹿児島県	奄美		瀬戸内徳洲会病院 (病院施設番号：033278)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	6名
							(病院施設番号：)		鹿児島県	熊毛		屋久島徳洲会病院 (病院施設番号：033279)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	6名
							(病院施設番号：)		鹿児島県	奄美		沖永良部徳洲会病院 (病院施設番号：033280)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	6名

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

徳洲会グループ病院の地域医療研修は平成6年よりスーパーローテーション研修プログラムの中で『べき地離島医療研修』として取り入れており、かなり実践的な内容となっております。この、医師不足地域であるべき地離島での研修（外来、病棟、訪問等）は、医療・福祉資源の限られた場で研修する事で、チーム医療での医師の役割を再認識し、将来の日本の縮図ともいえる少子高齢化の進んだ地域で初期臨床研修中に経験する良い機会であり、経験した研修医の満足度も高いものとなっております。

基本的には、派遣元と派遣先の人的な交流・連携がある病院を優先していますが、派遣元病院でも研修医の能力について差があり、個々の研修医に対し適切な施設において研修を受けることができるように、複数の施設を一括して登録していますが、研修実施責任者も指導医講習会を受講している事や、受け入れ研修医の人数も過剰にならないよう配慮されており、十分な指導体制も確保されています。また、「医師法第10条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の施行について（医政発第0612004号）」に定める以下の要件に合致しているものであると考えております。

「医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の施行について（医政発第0612004号）」

5. 臨床研修病院の指定の基準 (1) 基幹型臨床研修病院の指定の基準 (イ) 地域医療のシステム化を図り、臨床研修病院群における緊密な連携を保つため、臨床研修病院群を構成する臨床研修病院及び臨床研修協力施設（病院又は診療所に限る）は、原則、同一の二次医療圏内又は同一の都道府県内にあることを基本とし、それらの地域を越える場合は、以下のような正当な理由があること。

※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。

※ 病院群を構成するすべての基幹型病院、地域密着型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※ 当該病院群に係るすべての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む）を「研修プログラム」欄に記入すること。

7. 病院群の構成等

別表

基幹型病院の名称（所在都道府県）：医療法人沖繩徳洲会 千葉徳洲会病院（千葉県）

基幹型又は地域密着型病院				協力型病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
千葉県	東葛南部	千葉徳洲会病院 (病院施設番号: 030157)					(病院施設番号:)		鹿児島県	奄美保健		与論徳洲会病院 (病院施設番号: 033281)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	6名
							(病院施設番号:)		沖縄県	宮古		宮古島徳洲会病院 (病院施設番号: 033295)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	6名
							(病院施設番号:)		鹿児島県	奄美		名瀬徳洲会病院 (病院施設番号: 031000)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	6名
							(病院施設番号:)		埼玉県	秩父		皆野病院 (病院施設番号: 041002)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	6名
							(病院施設番号:)		鹿児島県	奄美		笠利病院 (病院施設番号: 041003)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	6名
							(病院施設番号:)		愛媛県	宇和島		宇和島徳洲会病院 (病院施設番号: 041004)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	6名
							(病院施設番号:)		沖縄県	八重山		石垣島徳洲会病院 (病院施設番号: 041005)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	6名
							(病院施設番号:)		北海道	札幌		札幌南徳洲会病院 (病院施設番号: 056506)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	6名
							(病院施設番号:)		鹿児島県	南薩		山川病院 (病院施設番号: 076095)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	6名
							(病院施設番号:)		東京都	北多摩北部		武蔵野徳洲会病院 (病院施設番号: 168115)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	6名

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

徳洲会グループ病院の地域医療研修は平成6年よりスーパーローテーション研修プログラムの中で『べき地離島医療研修』として取り入れており、かなり実践的な内容となっております。この、医師不足地域であるべき地離島での研修（外来、病棟、訪問等）は、医療・福祉資源の限られた場で研修する事で、チーム医療での医師の役割を再認識し、将来の日本の縮図ともいえる少子高齢化の進んだ地域で初期臨床研修中に経験する良い機会であり、経験した研修医の満足度も高いものとなっております。

基本的には、派遣元と派遣先の人的な交流・連携がある病院を優先していますが、派遣元病院でも研修医の能力について差があり、個々の研修医に対し適切な施設において研修を受けることができるように、複数の施設を一括して登録していますが、研修実施責任者も指導医講習会を受講している事や、受け入れ研修医の人数も過剰にならないよう配慮されており、十分な指導体制も確保されています。また、「医師法第10条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の施行について（医政発第0612004号）」に定める以下の要件に合致しているものであると考えております。

「医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の施行について（医政発第0612004号）」

5. 臨床研修病院の指定の基準 (1) 基幹型臨床研修病院の指定の基準 (イ) 地域医療のシステム化を図り、臨床研修病院群における緊密な連携を保つため、臨床研修病院群を構成する臨床研修病院及び臨床研修協力施設（病院又は診療所に限る）は、原則、同一の二次医療圏内又は同一の都道府県内にあることを基本とし、それらの地域を越える場合は、以下のような正当な理由があること。

※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。

※ 病院群を構成するすべての基幹型病院、地域密着型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※ 当該病院群に係るすべての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む）を「研修プログラム」欄に記入すること。

7. 病院群の構成等

別表

基幹型病院の名称（所在都道府県）：医療法人沖繩徳洲会 千葉徳洲会病院（千葉県）

基幹型又は地域密着型病院				協力型病院				臨床研修協力施設				研修プログラム						
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員			
千葉県	東葛南部	千葉徳洲会病院 (病院施設番号:030157)					(病院施設番号:)		鹿児島	奄美		徳之島徳洲会病院 (病院施設番号:030951)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	6名			
							(病院施設番号:)		山形県	庄内		庄内余目病院 (病院施設番号:031060)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	6名			
							(病院施設番号:)		北海道	日高		日高徳洲会病院 (病院施設番号:031061)		千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム	6名			
							(病院施設番号:)											
							(病院施設番号:)											
							(病院施設番号:)											
							(病院施設番号:)											
							(病院施設番号:)											
							(病院施設番号:)											

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

徳洲会グループ病院の地域医療研修は平成6年よりスーパーローテーション研修プログラムの中で『へき地離島医療研修』として取り入れており、かなり実践的な内容となっております。この、医師不足地域であるへき地離島での研修（外来、病棟、訪問等）は、医療・福祉資源の限られた場で研修する事で、チーム医療での医師の役割を再認識し、将来の日本の縮図ともいえる少子高齢化の進んだ地域で初期臨床研修中に経験する良い機会であり、経験した研修医の満足度も高いものとなっております。

基本的には、派遣元と派遣先の人的な交流・連携がある病院を優先していますが、派遣元病院でも研修医の能力について差があり、個々の研修医に対し適切な施設において研修を受けることができるように、複数の施設を一括して登録していますが、研修実施責任者も指導医講習会を受講している事や、受け入れ研修医の人数も過剰にならないよう配慮されており、十分な指導体制も確保されています。また、「医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の施行について（医政発第0612004号）」に定める以下の要件に合致しているものと考えております。

「医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の施行について（医政発第0612004号）」

5. 臨床研修病院の指定の基準 (イ) 地域医療のシステム化を図り、臨床研修病院群における緊密な連携を保つため、臨床研修病院群を構成する臨床研修病院及び臨床研修協力施設（病院又は診療所に限る）は、原則、同一の二次医療圏内又は同一の都道府県内にあることを基本とし、それらの地域を越える場合は、以下のような正当な理由があること。

※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に記して記入すること。

※ 病院群を構成するすべての基幹型病院、地域密着型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※ 当該病院群に係るすべての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む）を「研修プログラム」欄に記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和 1 年度開催回数 2 回）

病院施設番号： 030157 臨床研修病院の名称： 千葉徳洲会病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ ツルタ ヨシヒコ		医療法人沖縄徳洲会 千葉徳洲会病院	院長	研修管理委員長
姓 鶴田	名 好彦			
フリガナ ムラタ イッペイ		医療法人沖縄徳洲会 千葉徳洲会病院	副院長	研修管理委員 研修実施責任者 プログラム責任者
姓 村田	名 一平			
フリガナ イサイ ヒデヤ		医療法人徳洲会 日高徳洲会病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 井齋	名 偉矢			
フリガナ マツウラ コウショウ		医療法人徳洲会 名瀬徳洲会病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 松浦	名 甲彰			
フリガナ テラダ ヤスシ		医療法人徳洲会 庄内余目病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 寺田	名 康			
フリガナ フジタ ヤスヒコ		医療法人徳洲会 徳之島徳洲会病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 藤田	名 安彦			
フリガナ ササカベ ヒロシ		医療法人徳洲会 新庄徳洲会病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 笹壁	名 弘嗣			
フリガナ タムラ ユキヒロ		医療法人徳洲会 大隅鹿屋病院	副院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 田村	名 幸大			
フリガナ ヤマモト コウジ		医療法人徳洲会 屋久島徳洲会病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 山本	名 晃司			
フリガナ ウラモト サトシ		医療法人徳洲会 喜界徳洲会病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 浦元	名 智司			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和 1 年度開催回数 2 回）

病院施設番号： 030157 臨床研修病院の名称： 千葉徳洲会病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ タカスギ カシヤ		医療法人沖縄徳洲会 与論徳洲会病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 高杉	名 香志也			
フリガナ サイトウ ノリヒト		医療法人沖縄徳洲会 宮古島徳洲会病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 斉藤	名 憲人			
フリガナ オカ ススム		医療法人徳洲会 笠利病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 岡	名 進			
フリガナ ワカヤマ マサヒコ		埼玉医療生活協同組合 皆野病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 若山	名 昌彦			
フリガナ オギノ ヒデミツ		医療法人徳洲会 成田富里徳洲会病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 荻野	名 秀光			
フリガナ ホサカ セイジ		医療法人沖縄徳洲会 宇和島徳洲会病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 保坂	名 征司			
フリガナ イケハラ ヤスカズ		医療法人沖縄徳洲会 石垣島徳洲会病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 池原	名 康一			
フリガナ スズキ ヒロミチ		医療法人沖縄徳洲会 武蔵野徳洲会病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 鈴木	名 洋通			
フリガナ コマツ ナオヤ		医療法人同和会 千葉病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 小松	名 尚也			
フリガナ タカハシ カズノリ		医療法人徳洲会 瀬戸内徳洲会病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 高橋	名 和範			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和 1 年度開催回数 2 回）

病院施設番号： 030157 臨床研修病院の名称： 千葉徳洲会病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ タマエ ツヨシ		医療法人徳洲会	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 玉榮	名 剛	沖永良部徳洲会病院		
フリガナ ムナカタ タカシ		医療法人徳洲会	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 棟方	名 隆	帯広徳洲会病院		
フリガナ マナベ ハルキ		医療法人徳洲会	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 真鍋	名 治樹	白根徳洲会病院		
フリガナ コバヤシ ツカサ		医療法人徳洲会	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 小林	名 司	山北徳洲会病院		
フリガナ ミズシマ ユタカ		医療法人徳洲会	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 水島	名 豊	共愛会病院		
フリガナ シジュウボウ カツヤ		医療法人徳洲会	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 四十坊	名 克也	札幌南徳洲会病院		
フリガナ ノグチ シュウジ		医療法人徳洲会	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 野口	名 修二	山川病院		
フリガナ キン ショウエイ		医療法人沖縄徳洲会	小児科部長	研修管理委員
姓 金	名 鍾栄	千葉西総合病院		
フリガナ スズキ メグミ		医療法人沖縄徳洲会		研修実施責任者 研修管理委員
姓 鈴木	名 恵	鎌ヶ谷総合病院		
フリガナ セノオ キョウイチ		妹尾内科	院長	研修管理委員 外部委員
姓 妹尾	名 恭一			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和 1 年度開催回数 2 回）

病院施設番号： 030157 臨床研修病院の名称： 千葉徳洲会病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ シミズ アキラ		船橋リハビリ友の会	会長	研修管理委員 外部委員
姓 清水	名 章			
フリガナ クラタ ヨシアキ		医療法人徳洲会 札幌徳洲会病院	副院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 倉田	名 佳明			
フリガナ ササキ エツコ		医療法人沖縄徳洲会 千葉徳洲会病院	看護部長	研修管理委員
姓 佐々木	名 悦子			
フリガナ トクダ カンジ		医療法人沖縄徳洲会 千葉徳洲会病院	事務長	研修管理委員 事務部門責任者
姓 徳田	名 寛治			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：医療法人沖縄徳洲会 千葉徳洲会病院
 病院施設番号： 030157

区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 (部門)	小 児 科	婦 人 科	その他の研修を行う診療科									合 計
							心臓血管外科	脳神経外科	リハビリ	泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	緩和ケア内科	病理診断科	その他 放射線科	
年間入院患者実数 () 内は救急件数又は分娩件数	3391	(16,943)	1207		0	409	63	622	107	650	473	0	247	0	0	7364
年間新外来患者数	4742		1047		49	211	23	266	27	108	729	62	112	0	0	7914
1日平均外来患者数 () 内は年間外来診療日数	248.5 (366)	46.3 (366)	40.5 (366)	()	4.3 (141)	30.0 (241)	12.7 (92)	19.9 (366)	24.2 (192)	32.5 (241)	46.4 (240)	27.1 (148)	5.9 (148)			
平均在院日数	18.5		12.7		0	9.0	16.7	14.7	123.3	10.7	9.0		23.0			
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医) 数)	13 (6)	1 (1)	7 (3)	2 (1)	0 (0)	3 (1)	1 (1)	2 (1)	2 (1)	3 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (2)	1 (1)	2 (0)	40 (18)

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、11. の救急医療の実績の前年度の件数及び15. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

※ 基幹型臨床研修病院指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。(様式任意)

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和3年度分)								臨床研修病院の名称： 千葉徳洲会病院						
								病院施設番号： 030157						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
千葉徳洲会病院	内科	4	4	3	3	3	3	2	2	3	3	3	3	3
	外科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	救急部門	1		1		1		1		1		1		
	麻酔科		1		1		1		1		1		1	1
				1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和4年度分)								臨床研修病院の名称： 千葉徳洲会病院						
								病院施設番号： 030157						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
千葉徳洲会病院	内科	4	4	3	3	3	3	2	2	3	3	3	3	3
	外科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	救急部門	1		1		1		1		1		1		
	麻酔科		1		1		1		1		1		1	1
				1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

29. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： 030157602病院施設番号： 030157 臨床研修病院の名称： 医療法人沖縄徳洲会 千葉徳洲会病院

臨床研修病院群番号： _____ 臨床研修病院群名： _____

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	千葉徳洲会病院群初期臨床研修プログラム			
2. 研修プログラムの特色	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーローテート研修にて2年間で医師として求められる知識及び手技を網羅できる。 ・基本的な研修カリキュラムをもとに、個々のレベルに応じた研修が可能であり、選択の幅が広いので自由に研修ができる。 ・グループの理念にのっとり、救急は断らないので市内でも最多の救急搬送の受入件数を保持しており、幅広い疾患を経験する事ができる。 ・医学知識だけでなく人格形成の教育を念頭に置き、研修環境を提供する。 			
3. 臨床研修の目標の概要	ジェネラリストとして総合的な臨床能力を養成する研修を目標とする。地域医療分野での研修をとおして医師不足地域での臨床を経験し、日本を支える医師の一員として献身的に診療にあたり、適切迅速なコンサルトができる臨床医を育成する事を目標としている。			
4. 研修期間	(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)			
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。希望があれば後期研修プログラムの選考登録が可能			
5. 臨床研修を行う分野	研修分野ごとの病院又は施設 (研修分野ごとの研修期間) * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称 (病院施設番号) を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。			
	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
(記入例) x x 科	1234567	〇〇 病院	〇週	〇週
必修	内科	030157 千葉徳洲会病院	25.8 週	2 週
	救急部門	030157 千葉徳洲会病院	4.3 週	

科目・分野	地域医療	031070	帯広徳洲会病院	8.6 週	一般外来 1 週 在宅診療 1 週
		031061	日高徳洲会病院		
		031121	共愛会病院		
		031060	庄内余目病院		
		032540	山北徳洲会病院		
		031124	新庄徳洲会病院		
		041002	皆野病院		
		031122	白根徳洲会病院		
		041004	宇和島徳洲会病院		
		076095	山川病院		
		031123	大隅鹿屋病院		
		033279	屋久島徳洲会病院		
		041003	笠利病院		
		031000	名瀬徳洲会病院		
		033278	瀬戸内徳洲会病院		
		033277	喜界徳洲会病院		
		033280	沖永良部徳洲会病院		
033281	与論徳洲会病院				
030951	徳之島徳洲会病院				
033295	宮古島徳洲会病院				
041005	石垣島徳洲会病院				
外科	030157	千葉徳洲会病院	17.2 週	1 週	
小児科	030159	千葉西総合病院	4.3 週	週	
産婦人科	030159	千葉西総合病院	4.3 週		
精神科	030155	千葉病院	4.3 週		
麻酔科	030157	千葉徳洲会病院	4.3 週		
病院で 定めた 必修 科目				週	
				週	
				週	
				週	
選択 科目	内科	030157	千葉徳洲会病院	30.1 週 (最低 4.3 週以 上は基幹病院に て研修する。)	
	外科	031070	帯広徳洲会病院		
	小児科	031061	日高徳洲会病院		
	産婦人科	031121	共愛会病院		
	麻酔科	031060	庄内余目病院		
	救急部門	032540	山北徳洲会病院		
	泌尿器科	031124	新庄徳洲会病院		
	リハビリテーション科	041002	皆野病院		
	心臓血管外科	031122	白根徳洲会病院		
	脳神経外科	041004	宇和島徳洲会病院		
	整形外科	076095	山川病院		
	耳鼻咽喉科	031123	大隅鹿屋病院		
	病理診断科	033279	屋久島徳洲会病院		
	婦人科	041003	笠利病院		
	地域医療	031000	名瀬徳洲会病院		
	033278	瀬戸内徳洲会病院			
	033277	喜界徳洲会病院			
	033280	沖永良部徳洲会病院			
	033281	与論徳洲会病院			
	030951	徳之島徳洲会病院			
	033295	宮古島徳洲会病院			

	緩和ケア	041005	石垣島徳洲会病院		
		168115	武蔵野徳洲会病院		
		168317	成田富里徳洲会病院		
		030155	千葉西総合病院		
		090016	鎌ヶ谷総合病院		
		030011	札幌徳洲会病院		

備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 52 週 ※原則として、52 週以上行うことが望ましい。

臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 12 週 ※原則として、12 週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。

研修プログラムに規定された 4 週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修としてみなす休日・夜間の当直回数・・・月平均 5 回、2 年間の合計 120 回

救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・4 週※但し、4 週を上限とする

一般外来の研修を行う診療科・・・内科 ※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること

救急（救急科 4 週+当直 8 週）とは別に麻酔科をローテートする。

選択科目

内科（千葉徳洲会病院）

外科（千葉徳洲会病院、成田富里徳洲会病院）

救急科（千葉徳洲会病院）

小児科（千葉西総合病院）

産婦人科（千葉西総合病院）

麻酔科（千葉徳洲会病院、鎌ヶ谷総合病院）

泌尿器科（千葉徳洲会病院）

リハビリテーション科（千葉徳洲会病院）

心臓血管外科（千葉徳洲会病院）

整形外科（札幌徳洲会病院）

耳鼻咽喉科（千葉徳洲会病院）

病理診断科（千葉徳洲会病院）

婦人科（千葉徳洲会病院）

地域医療（帯広徳洲会病院、日高徳洲会病院、共愛会病院、庄内余目病院、山北徳洲会病院、新庄徳洲会病院、皆野病院、白根徳洲会病院、宇和島徳洲会病院、山川病院、大隅鹿屋病院、屋久島徳洲会病院、笠利病院、名瀬徳洲会病院、瀬戸内徳洲会病院、喜界徳洲会病院、沖永良部徳洲会病院、与論徳洲会病院、徳之島徳洲会病院、宮古島徳洲会病院）

緩和ケア（札幌南徳洲会病院）

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030157

臨床研修病院の名称： 千葉徳洲会病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
地域医療	棟方 隆	帯広徳洲会病院	院長	41年	○	日本外科学会指導医・専門医 日本肝臓学会専門医 平成10年度臨床研修指導医養成講習会		3、4
地域医療	井齋 偉矢	日高徳洲会病院	院長	46年	○	日本外科学会専門医 日本東洋医学会指導医・専門医 日本プライマリケアネットワーク指導医講習会		3、4
地域医療	水島 豊	共愛会病院	院長	45年	○	日本内科学会認定内科医 日本呼吸器学会指導医 気管支鏡専門医・指導医 第7回徳洲会指導医講習会		3、4
地域医療	寺田 康	庄内余目病院	院長	39年	○	日本外科学会専門医・指導医 日本胸部外科学会専門医・指導医 日本心臓血管外科学会専門医 日本プライマリ・ケア連合学会認定医 第4回徳洲会指導医講習会		3、4
地域医療	小林 司	山北徳洲会病院	院長	40年	×			3、4
地域医療	笹壁 弘嗣	新庄徳洲会病院	院長	35年	○	日本外科学会指導医 医療研修推進財団主催臨床研修 指導医養成講習会受講		3、4

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：

臨床研修病院の名称：

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
地域医療	若山 昌彦	皆野病院	院長	28年	○	日本外科学会専門医 四病院団体協議会主催指導者養成講習会		3、4
地域医療	真鍋 治樹	白根徳洲会病院	副院長	28年	○	第1回山梨県臨床研修指導医 ワークショップ		3、4
地域医療	保坂 征司	宇和島徳洲会病院	院長	19年	×	日本外科学会 外科専門医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本消化器外科学会 消化器外科専門医 日本消化器外科学会 消化器外科指導医		3
地域医療	野口 修二	山川病院	院長	32年	○	第16回徳洲会指導医講習会		3、4
地域医療	田村 幸大	大隅鹿屋病院	副院長	23年	○	内科専門医、腎臓学会専門医、 救急医学会専門医、 第3回徳洲会グループ臨床研修病院 指導医養成講習会受講		3、4
地域医療	山本 晃司	屋久島徳洲会病院	院長	38年	○	日本内科学会員 第11回徳洲会指導医講習会		3、4
地域医療	岡 進	笠利病院	院長	49年	○	日本肝臓学会専門医 日本消化器外科学会認定医 日本外科学会専門医 全国自治体病院協議会主催 第110回指導医養成講習会		3、4

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：

臨床研修病院の名称：

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
地域医療	松浦 甲彰	名瀬徳洲会病院	院長	33年	○	日本内科学会員 第11回徳洲会指導医講習会		3、4
地域医療	高橋 和範	瀬戸内徳洲会病院	院長	33年	×	総合内科専門医 認定内科医 脳卒中学会専門医		3
地域医療	浦元 智司	喜界徳洲会病院	院長	28年	○	第4回徳洲会指導医講習会		3、4
地域医療	玉榮 剛	沖永良部徳洲会病院	院長	32年	○	外科専門医 第24回徳洲会指導医講習会		3、4
地域医療	高杉 香志也	与論徳洲会病院	院長	20年	○	第7回徳洲会グループ指導医養成講習 会 認定内科医、総合診療認定医		3、4
地域医療	藤田 安彦	徳之島徳洲会病院	院長	35年	○	放射線科専門医 日本がん治療認定医 難病指定医 日本 IVR 学会専門医 検診マンモグラフィ読影認定医 第7回徳洲会指導医講習会		3、4
地域医療	斉藤 憲人	宮古島徳洲会病院	院長	17年	○	認定内科医、救急専門医、認定病院総合診 療医、第20回久留米大学指導医講習会		3
地域医療	池原 康一	石垣島徳洲会病院	院長	25年	○	第1回徳洲会指導医講習会		3、4

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： _____

臨床研修病院の名称： _____

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
選択科 緩和ケア	四十坊 克也	札幌南徳洲会病院	院長	21年	○	日本内科学会認定総合内科専門医 日本緩和医療学会暫定指導医 日本プライマリケア連合学会認定医 日本プライマリケア連合学会指導医 四病院団体協議会主催指導医講習会		3、4

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030157

臨床研修病院の名称： 千葉徳洲会病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
外科	村田 一平	千葉徳洲会病院	医長	12年	○	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医 プログラム責任者養成講習会		1. 4
内科	上田 修	千葉徳洲会病院	循環器内科 部長	36年	○	日本内科学会総合内科専門医 日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション 学会指導医		4
内科	石森 章太郎	千葉徳洲会病院	呼吸器内科 部長	26年	○	日本呼吸器学会専門医 日本気管支鏡学会専門医 日本内科学会認定医		4
内科	佐伯 公子	千葉徳洲会病院	循環器内科 部長	37年	○	日本循環器学会専門医 日本不整脈学会専門医 日本内科学会認定医		4
リハビリテーション科	池田 喜久子	千葉徳洲会病院	リハビリテーション科 部長	36年	○	日本リハビリテーション医学会 リハビリ専門医		4
外科	鶴田 好彦	千葉徳洲会病院	院長	25年	○	日本外科学会外科専門医 プライマリケア連合学会指導医 麻酔科標榜医		4
麻酔科	百瀬 清志	千葉徳洲会病院		31年	○	麻酔科標榜医		4

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030157

臨床研修病院の名称： 千葉徳洲会病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
病理科	宍倉 有里	千葉徳洲会病院		31年	○	日本病理学会病理専門医 日本臨床細胞学会細胞診専門医		4
救急	浅原 新吾	千葉徳洲会病院	副院長	31年	○	日本消化器病学会指導医・専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓学会専門医 日本内科学会認定医 がん治療認定医		4
心臓血管外科	橋本 昌紀	千葉徳洲会病院	心臓血管外科 部長	32年	○	日本心臓血管外科学会専門医 日本循環器学会専門医 日本外科学会専門医		4
外科	大田 智之	千葉徳洲会病院	部長	19年	○	日本消化器外科学会専門医 日本外科学会専門医		4
内科	山本 栄篤	千葉徳洲会病院	消化器内科 部長	26年	○	総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器病学会指導医		4
内科	須山 正幸	千葉徳洲会病院	消化器内科 医長		○	内科認定医 消化器内視鏡学会専門医 消化器病学会専門医		4

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030157

臨床研修病院の名称： 千葉徳洲会病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
地域医療	鈴木 通道	武蔵野徳洲会病院	院長	44年	○	日本内科学会認定医 日本腎臓学会指導医 内分泌代謝学会指導医 日本高血圧学会指導医 日本医師会認定産業医		3. 4
外科	荻野 秀光	成田富里徳洲会病院	院長	24年	○	日本心臓血管外科学会専門医 日本脈管学会専門医 日本外科学会指導医		3. 4
緩和ケア内科	渡邊 敏	千葉徳洲会病院	部長	34年	○	指導医講習会受講済		4
緩和ケア内科	尾下 陽大	千葉徳洲会病院		12年	○	指導医講習会受講済		4
内科	外山 雄三	千葉徳洲会病院	消化器内科 医長	12年	○	消化器病学会専門医 消化器内視鏡学会専門医 総合内科専門医 消化器がん検診学会総合認定医 指導医講習会受講		4
精神科	横山 大輔	千葉病院	医局長	19年	○	日本精神神経学会 精神科 専門医		4

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030157

臨床研修病院の名称： 千葉徳洲会病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
脳神経外科	詫磨 裕史	千葉徳洲会病院		9年	○	脳神経外科専門医 指導医講習会受講		4
婦人科	山下 修位	千葉徳洲会病院		10年	○	産婦人科専門医 指導医講習会受講		4
小児科	野間 剛	千葉西総合病院	主任部長	42年	○	日本小児科学会専門医、 日本血液学会指導医、 日本アレルギー学会指導医 指導医講習会受講済み		4
小児科	金 鍾栄	千葉西総合病院	副院長	36年	○	指導医講習会受講済み		3. 4
産婦人科	森山 修一	千葉西総合病院	副院長	38年	○	日本産婦人科学会専門 医・指導医 千葉県母体保護法指定医師		4
麻酔科	鈴木 恵	鎌ヶ谷総合病院		9年	○	麻酔科専門医 指導医講習会受講済み		3. 4

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030157

臨床研修病院の名称：

千葉徳洲会病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
整形外科	倉田 佳明	札幌徳洲会病院	副院長	24年	○	整形外科学会整形外科専門医・指導医 手外科学会手外科専門医 救急医学会救急科専門医 指導医養成講習会受講		3. 4
整形外科	松井 裕帝	札幌徳洲会病院	部長	16年	○	整形外科学会整形外科専門医 手外科学会手外科専門医 指導医養成講習会受講		4
整形外科	宮城 登	札幌徳洲会病院	主任部長	37年	○	整形外科学会整形外科専門医・指導医 整形外科学会認定スポーツ医 指導医養成講習会受講		4
整形外科	齋藤 丈太	札幌徳洲会病院	部長	25年	○	整形外科学会整形外科専門医・指導医 救急医学会救急科専門医 プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医 指導医養成講習会受講		4

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030157

臨床研修病院の名称： 千葉徳洲会病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
整形外科	上田 泰久	札幌徳洲会病院	部長	18年	○	整形外科学会整形外科専門医・指導医 救急医学会救急科専門医 プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医 指導医養成講習会受講		4
整形外科	土反 唯衣	札幌徳洲会病院	医長	12年	○	整形外科学会整形外科専門医 指導医養成講習会受講		4

※ 「担当分野」欄には、様式 10 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。